

沿岸各地の水温

日本海 9℃台
陸奥湾 6～11℃台

(1月6～10日)
津軽海峡 8～10℃台
太平洋 7～9℃台

今回は鰯ヶ沢、佐井、八戸、階上を除き、その他全海域で降温しました。平均前回差は-0.4度となっています。

昨年と比べると、日本海側で-1.0度、津軽海峡側で+0.9度、陸奥湾内で-0.1度、太平洋で-0.2度となっており、平均昨年差は-0.4度でした。

平年と比べると、日本海でかなり高め、陸奥湾、太平洋、津軽海峡では平年並みとなっています。平均平年差は+0.3度でした。

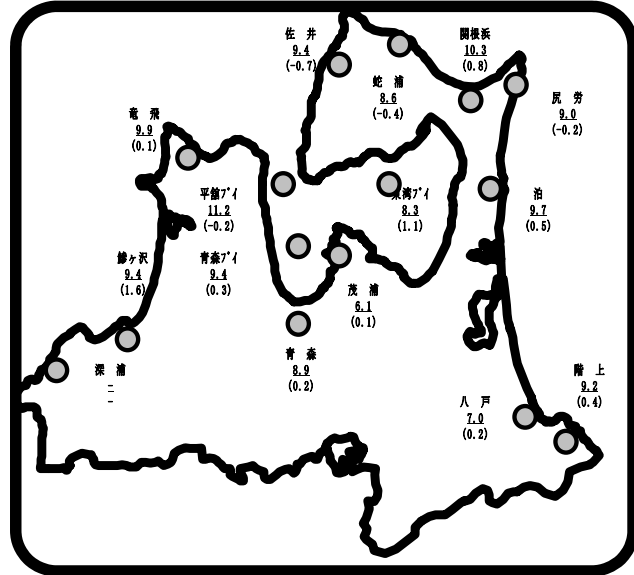


図 定地水温 (1月6～10日)
平均値 (平年差) ブイ 1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鰯ヶ沢	9.4	+1.6	-1.0	+0.3
竜飛	9.9	+0.1	-0.7	-0.6
佐井	9.4	-0.7	+0.8	+0.0
青森	8.9	+0.2	-1.1	-0.5
蛇浦	8.6	-0.4	-3.4	-0.8
関根兵	10.3	+0.8	-0.2	-0.4
尻労	9.0	-0.2	-1.0	-0.2
泊	9.7	+0.5	+0.1	-1.0
八戸	7.0	+0.2	-0.1	+0.1
階上	9.2	+0.4	+0.1	+0.0
茂浦	6.1	+0.1	+0.0	-1.1
平館ブイ	11.2	-0.2	-0.5	-0.6
青森ブイ	9.4	+0.3	-0.0	-0.8
東湾ブイ	8.3	+1.1	+1.4	-0.5
平均	9.0	+0.3	-0.4	-0.4

太平洋の海況 (1月8～11日)

概況；沿岸水温は11℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

ほぼ前回並みで、前年同期と比べ1度ほど低い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

10℃等温線でみると東経141度45分付近までと、前回と変わっていません。

○親潮系冷水の南下

9℃等温線でみると北緯39度分30付近までと、南下は前回より強まっています。

日本海の海況 (1月8～11日)

概況；沿岸水温は11～12℃台

○日本海沿岸域の表面水温

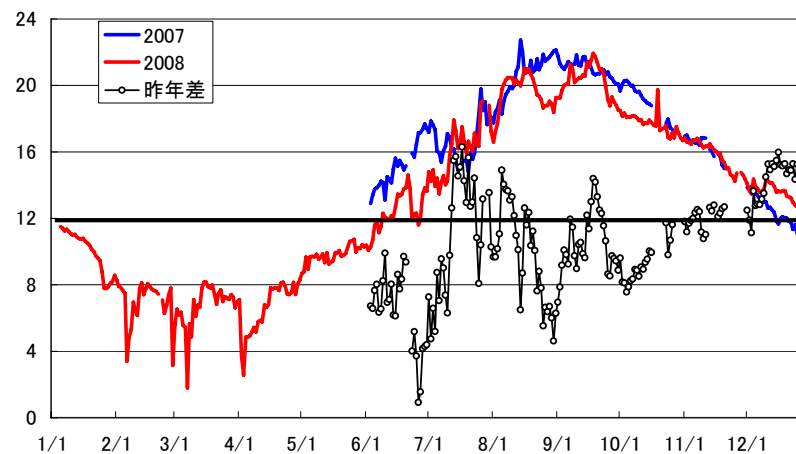
ほぼ前回並みで、前年同期と比べ1度ほど低い水温となっています。

◎ 六カ所沖の水温について～NO.1ブイの水温推移～

県が実施している六カ所村沖合海洋放射能等調査のために、平成19年6月より六カ所沖に2基設置された水温観測ブイのデータ提供を受け1年以上データが蓄積されたので、NO.1ブイ (位置：北緯40度58分、東経141度25分・水深：5m) の結果を右図に示しました。

2008年 (平成20年) の結果は、3/7と4/3に3度以下の低水温となりました。特に3/7は1.79度と最も低い日となりました。最も高い日は9/18の21.91度でした。

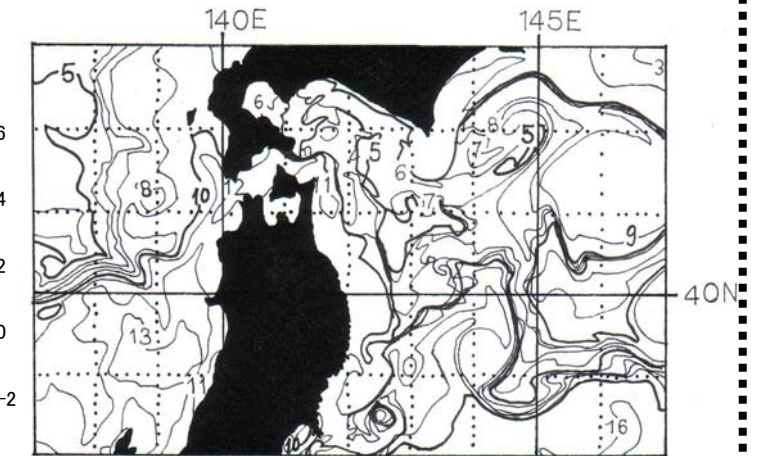
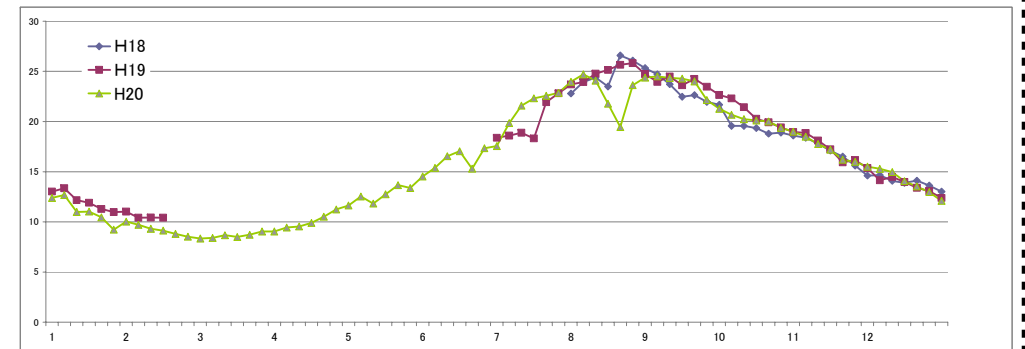
2007年 (平成19年) と比べると6月～7月上旬、8月上旬～10月上旬は低い状態、10月中旬以降は同程度の水温が続きましたが、12月以降は高めの状態となりました。



◎ 大戸瀬沖に設置した水温観測ブイの観測結果

平成18年より、新深浦町漁協の山崎さんの協力を得て、大戸瀬沖水深25mに水温観測ブイを設置しています。その結果を右図に示しました。

半旬ごとの10層の水温はグラフのとおりで、H20の水温は、7月はやや高めでしたが8月に入り急激に降温し、ほかはほぼ平年並みで推移しました。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第80号 1月12日